

令和2年度 赤穂市学校評価 外部評価報告書

学校園名 赤穂市立 赤穂東中学校

総合的な学校関係者評価

○保護者アンケートの結果を見ると C,D が多い項目がやはり気になりますが、生徒、教職員、親とのコミュニケーションに係わる内容が多く含まれていると思います。どんな状況下であっても皆が信頼し合い、成長できるように生徒を導いてあげてください。

○次年度の対応に向けた検討項目 学校評価における①生徒の問題行動が起きた時の組織的な体制づくり ②安全な学校生活を送れる危機管理体制 ③「地域に開かれた学校づくり」に対する保護者や地域の人たちとの連携 保護者の項目における①地域行事への積極的な参加 ② PTA 活動への積極的な取り組み

○保護者アンケートの結果から、1, 3 年生に比べて2年生の評価内容の A 評価の割合がほとんどの項目で平均値を下回っているのが気になります。2年生の先生方と保護者の間で認識の違いがあるように感じられます。今後更に教職員と保護者の信頼関係の構築をお願いします。

○行事等ができないからではなく、代替案を出して頂き感謝している。来年度はオープンスクールをオンラインで公開することも等も考えて頂きたい。

○学校に感染者が出て臨時休校になるようなことがあれば、できるだけ早く地域にも知らせしてほしい。

1 本年度の学校経営方針

【学校教育目標】 「高い志を持ち、学ぶ意欲と思いやりの心の充ちる生徒の育成」
～『志』高く、行動力と、やさしさのあふれる学校をめざして～

【学校教育目標の具現化への基本方針】

- (1) 「心」あるあいさつと思いやりの心の充ちる生徒の育成に努める。
- (2) 「個」をつなぎ、「考」を紡ぎあう『学び』から、さらなる高みを求める態度を養う。
- (3) よりよい生き方を目指し、『夢』と『志』を持つ豊かな人間性を培う。
- (4) 「東中の『誇り』」を胸に、地域とともに魅力ある教育環境づくり・人づくりに努める。

2 本年度の学校重点目標

- (1) 確かな学力を育み、わかる授業づくりを推進する。
- (2) 人権感覚・人権意識を基盤とした学校文化を創造する。
- (3) すこやかな体を培う。
- (4) 「気づき・考え・行動する」主体的な生徒を育成する。
- (5) 特別支援教育の充実を図る。

3 学校教育の基盤

- (1) 魅力ある学校づくり、地域に信頼される学校づくりを進める。

学校関係者評価

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

4 自己評価結果 (A～D) A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

観 点 (重点目標)	評 価 項 目 (学校・教師の取組)		評価資料	達成 状況	改善の方策
	評価指標	および 目標値 (期待される姿)			
1. 人間として当たり前のことができる集団を育て、人としての心を育てる。	項目 指標	挨拶・服装をはじめ、基本的な生活習慣を確立させることができたか。 誰にでも気持ちのよい挨拶ができ、服装の乱れのない生活ができた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○挨拶は感染症予防の面から大きな声ではできないが、笑顔で会釈をするなどなどを推進していきたい。 ○服装、時間を守ることなどの基本的な生活習慣の確立にあたっては、全職員の共通理解のもと、家庭との連絡を密にしながら、学校生活のあらゆる場面で、個々の生徒に応じた指導や対応を行う。 ○日々の学校生活で行う日番、清掃、給食当番がみんなの笑顔のために行う活動であり、ボランティア活動もクラスの仲間の笑顔のために行うことであることを理解させたい。 ○生徒1人1人が、「自分のために指導してくれている」と感じられるような言葉かけができるよう教師の研修を積み上げていきたい。
	項目 指標	清掃指導やボランティア活動への参加を促す等、生徒の奉仕の心を育てたか。 熱心に清掃に取り組んだ。また、生徒会や地域のボランティア活動に積極的に参加した。	生徒アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	生徒の人権を大切にしたい教育を行い、生徒との信頼関係を築くことができたか。 先生は生徒のことをよく理解しており、頼りになる存在である。	生徒アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	学校行事・生徒会行事等への参加を促し、より自主的・実践的な態度の育成ができたか。 学校や地域の行事に積極的に参加し、交流を深めた。	生徒アンケート 教師自己評価		
2. 夢と希望を持ち、笑顔あふれる生徒を育てる。	項目 指標	わかる授業を創造し、生徒たちの自己実現を図り、学習意欲を高めたか。 授業はわかりやすく学習内容は理解できている。生徒はもっと勉強したいと意欲的である。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○臨時休校中に学校のホームページ上に学習サイトを開き、家庭学習の支援を行った。生徒は利用したが、双方向でないため充分理解が深められたとは言えない。 ○臨時休校で遅れていた教育課程は、2学期の初めには追いつくことができた。 ○家庭学習が定着しておらず、SNS等に費やす時間が増えている。今後はいかにSNSを利用する時間を抑えて学習時間を増やすかが課題となる。家庭の協力を得て時間の使い方を考えさせていきたい。 ○基礎学力の定着や向上を図るため、朝の学習タイムの活用が定着してきており、今後は終わりの会後の学習時間の効果的な活用を進めたい。 ○デジタル教科書や生徒個人用のタブレット端末を活用しながら個々の習熟度に応じた課題の与え方を工夫し、有効な少人数授業の研究を推進する。 ○支援を必要とする生徒に、多くの教師が関わられるよう個別の指導計画、支援計画を活用する。
	項目 指標	家庭との連携を図り、家庭学習の習慣が確立したか。 自主的な家庭学習ができ、宿題等も期日を守って提出できる。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	授業時数を十分確保できたか。 じっくりと時間をかけた丁寧な指導で、授業がよく分かる。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	少人数授業など個に応じた指導が十分にできたか。 自分の到達度に応じた指導を受け、学習内容がよく理解できた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	特別な支援を要する生徒に対して適切な指導が行われたか。 教師は個別の支援計画を作成し、一人ひとりに応じた指導ができた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目 指標	思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業の創造ができたか。 生徒たちに思考力・判断力・表現力の方が付いた。	教師自己評価		

自己評価 は適切か	改善方策 は適切か	課題と来年度具体的改善方法
○	◎	○中学生が地域の独居老人にメッセージカードを書いてくれたので、年末にお餅を持って行くときに添えることができた。このような形で続けてくれるとありがたい。 ○中学生はあいさつをしてくれているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響もあり、大きな声であいさつをする生徒が減っている。難しいと思うが、声は小さくてもあいさつや会釈などを行う大切さを教えてやってほしい。 ○幼稚園・保育所への交流訪問等ができなかったのは残念だが、仕方が無い。 ○地域の行事が中止になり、中学生の姿を見ることがほとんど無かったのはさみしい。地域行事ができるようになれば今までのように参加してほしい。
○	○	○行事がなかった分、生徒にとって面白みが少ないと感じたのではないか。その中でも工夫して行事を行ってくれたことはありがたい。 ○行事の実施について他校と対応が違っていたので、保護者もいろいろ感じたことがあったのではないか。 ○学習に関しては、仲間と共に「学ぶ」ことの楽しさや大切さを実感できるようにお願いしたい。今までのような学習活動はなかなか難しいと思うが、みんなで学び合うことを工夫して行ってもらいたい。 ○SNSの使い方等の学習は行っていると思うが、保護者が実態を把握しているか疑問である。家庭学習の時間よりもインターネットやゲームに費やす時間が多くなっているようにおもうので、家庭でも子供と指導してやってほしい。 ○参観日や学校行事がなかった分、保護者は学校のことが分かりづらかったようなので、ホームページや学校便りに生徒の様子がわかるような工夫をしてほしい。

A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

観点 (重点目標)	評価項目 (学校・教師の取組)		評価資料	達成 状況	改善の方策
	評価指標	および 目標値 (期待される姿)			
3. 楽しく 安心でき 充実した 生活を送 れる学校 づくりを 進める。	項目	教育相談週間(面談)や生活ノートの活用により生徒理解を深めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	C	○いじめを生まない学級指導の在り方を教師が本気になって研修する必要がある。生徒が学校での不満を家庭で言うことが多くなれば、学校への不信感が募る。生徒理解を深め、いじめにつながる事案の早期発見、早期対応をチームとして行えるようにしたい。 ○普段の生徒の言動に関して、教師が高い人権感覚をもって向き合う事が大切である。生徒の言葉によって傷つく者がいるならば、その生徒をその場で指導する必要がある。教師自身の人権意識を更に高めていきたい。 ○不登校生徒へのアプローチは、担任だけでなくスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携しながら進める。保護者へのカウンセリングを継続して実施していきたい。ケース会議等を持ち、情報を共有し取り組み方を検証しながら進めていきたい。
	指標	先生は私のことをよく理解してくれ、困ったときに先生に相談できた。			
	項目	楽しく安心できる学校づくりに努めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート		
	指標	学校に愛着を持ち、毎日登校することが楽しい。			
	項目	学級経営等の工夫により、生徒は充実した学校(学級)生活を送っているか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	学級活動等で活躍することができ、学級での生活が充実している。			
	項目	部活を通して生徒との良好な人間関係を築いたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	先生の指導は熱心で、生徒は部活動に積極的に参加し、楽しく活動している。			
	項目	不登校生徒への指導や支援は十分であったか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	不登校生徒が登校できるようになった。			
4. 東中を 学びの場 としてふ さわしい 環境にす る。	項目	教室や廊下には生徒の作品やポスター類がきれいに掲示されるなど、環境が整備されているか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○感染症拡大防止のため活動が制限されてきたなかで、今できる行事を考え工夫して実施できた。教師自身が今までの行事についての考えをリセットして、感染症予防の観点から行事について考え直す必要がある。 ○委員会活動においても感染症拡大防止を推進する取り組みに力を入れてきた。世の中の状況を考え、自分たちだけにできることをしっかりやろうとする気持ちを持たせたい。 ○感染者や濃厚接触者に対する差別や偏見を持つことのないよう道徳等で、生徒の心に響く授業を行う必要がある。また、今後も継続的に意識調査を実施し、生徒の実態に合わせた指導を心がける。
	指標	教室や廊下には掲示物が整然と貼られ、環境が整っている。			
	項目	掃除がすみずみまで行き届くなど、校舎内外の環境美化に努めているか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	校舎内外ともに隅々まで清掃が行き届いている。			
	項目	教職員の言葉遣いは人権に配慮された適切なものになっているか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	生徒や保護者に対して人権に配慮した適切な言葉遣いができている。			
	項目	生徒会活動は活発で、自治的・主体的・自律的な活動が行われているか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	生徒会の委員会活動等は活発で、生徒は自主的に活動できる。			
5. 地域に 信頼され る学校づ くりを進 める。	項目	学校だよりやHPなどで学校の情報を家庭や地域に発信したか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○困難な状況の中でも頑張っている生徒の様子や保護者の声が地域の方に届けられるように学校だよりとホームページの更新を積極的に行い、学校からの情報を発信する。 ○学校が地域の声を吸い上げる方法を模索し、地域とのつながりを保てるよう努力する必要がある。 ○生徒、保護者、地域に信頼される教職員になるために一層の職務への専念、服務規律の確立に努める。 ○自治会、青少年育成推進委員、防犯委員、民生児童委員など、青少年の育成に関与しておられる方々の協力が引き続き得られるような教育活動を展開する。 ○日々の校内巡視や、月2回の安全点検、交通立番指導等の徹底を図る。 ○学校運営協議会で学校行事等について協議していただき、外部のから支援していただけるよう取り組む。 ○校舎内外の環境整備や学習指導(教師の補助的作業)等にも地域の方のご協力が得られるような方策を検討する。
	指標	保護者や地域住民は、学校の状況をよく理解している。			
	項目	オープンスクール等を推進し、保護者や地域の人たちの生徒理解・学校理解を進めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	保護者や地域住民は学校行事等に積極的に参加し、また、教育活動に協力的である。			
	項目	地域行事への参加・協力を通して、学校と地域の連携を図ったか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	地域行事に積極的に参加する。			
	項目	P T A活動への協力など、P T Aと効果的な連携を図ったか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	P T Aの協力を得て、教育活動が活性化した。			
	項目	学校評価を適切に行い、次年度への学校教育の指針を作成したか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	アンケート等で保護者や地域住民の声をくみ取り、次年度の学校経営方針等を策定した。(教師)			
	項目	育成推進委員会などと連携を図り、生徒たちの健全育成を推進したか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	地域諸団体の協力を得て、健全育成を推進した。			
	項目	安全で安心な学校づくりに取り組んだか。	保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	定期的な安全点検、校内の巡回等、生徒の安全確保に取り組んだ。(教師)			

自己評価 は適切か	改善方策 は適切か	課題と来年度具体的改善方法
○	○	○保護者アンケートでは「いじめの早期発見や早期解消に努めている」において、十分ではないという割合が多く、改善の必要がある。感染症拡大防止のため参観日や学校行事がなく、保護者が学校に来る機会が減っている。保護者にとって生徒が家庭で話す内容が学校の様子を知るうえで大きなウェイトを占めている。生徒が学校で認められ、どこかで活躍できるような場面を作れるよう努力してもらいたい。 ○部活動に関して、臨時休業期間に活動できなかったため残念に思っている生徒も多いのではないか。その中でも最後に大会を実施して頂いたのはよかった。大変だと思うが、部活動も頑張ってもらいたい。 ○不登校生徒がまだ何名かいるが、なかなか地域が関わる機会がない。先生方は大変だと思うが、不登校生徒が少しでも減るように支援してやってほしい。
○	◎	○今までと同じような学校行事ができない中で、替わる行事を持ってくれたので、生徒も嬉しかったのではないか。特に修学旅行は何度も行き先が変更になり、行けないかもしれない状況の中で保護者の同意を得て実施できたことは良かった。先生方は大変なご苦労をされたと思う。来年度も心配だが、生徒のために頑張ってもらいたい。 ○新型コロナウイルス感染症の拡大は収まっていない。今後も学校で感染予防をしっかりやってもらいたい。また、感染者が回復したときに差別や中傷の心配なく復帰できるよう学校でも取り組んでもらいたい。
○	○	○参観日や学校行事がなく学校の様子がよく分からなかった。他校と行事の対応が違っていたのでもう少し説明してほしい。 ○地域の行事も中止となり、中学生と交流する機会が無かった。 ○中学生がメッセージカードを作成してくれたので、歳末に地域の独居老人へお餅を配布する際に添えることができ良かった。 ○地域の巡回で中学生が遅くまで帰宅していない姿を見かけたり、小中学生が公園で遊んでお菓子を食べた後、ゴミを放置していたことがあった。学校でも指導してほしい。 ○本年度から学校運営協議会が始まり、学校運営(特に修学旅行)に関して検討することができた。感染予防を考えながら修学旅行を実施できるよう苦労されていたことがわかった。今後も学校運営協議会で協議しながら、よりよい学校運営を進めてもらえたらと思う。

A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった

◎：適切である ○：ほぼ適切である △：あまり適切でない ×：適切でない

観点 (重点目標)	評価項目 (学校・教師の取組)		評価資料	達成 状況	改善の方策
	項目	評価指標 および 目標値 (期待される姿)			
6. 人間的なふれあいに基づく生徒指導を進める。	項目	全教育活動を通して、いじめ・暴力のない人間(生徒)関係づくり、学校づくりに努めたか。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価	B	○学級経営、生徒指導について教師自身が力量を高めようとする姿勢が求められる。生徒が生き生きと活動するためにどのように学級づくりを進めるのかチームとして取り組む必要がある。 ○道徳が教科化され、今まで以上に丁寧に取り組んでいる。これからは教師自身が人間性を磨く姿勢を持ち続けていきたい。 ○家庭環境等の影響で基本的な生活習慣が身につみにくい生徒も少なからずいる。SNS を利用する時間の管理等学校の指導だけでは対応できない課題もある。保護者がどのように関わればいいのかも含めた、地域の関係団体や関係機関との協力を進める。 ○生徒と教師、生徒同士の適切な関係づくりや、家庭と教師との連携に向け、教職員の資質向上研修を推進する。
	指標	学級(学校)は、安心して勉強や生活ができる場である。			
	項目	道徳教育をはじめ全教育活動を通して、他者への思いやりやマナー、命の大切さを学ばせたか			
	指標	命の大切さが分かり、人の気持ちを大切に仲良くすることができた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	項目	問題行動が発生した時には組織的に対応し、早期の解決を図るとともに、未然防止に努めた。	生徒アンケート 保護者アンケート 教師自己評価		
	指標	教職員は問題行動に対して適切な指導をし、問題行動が減少した。			

自己評価 は適切か	改善方策 は適切か	課題と来年度具体的改善方法
△	○	○いじめのない学校は、生徒だけでなく保護者の願いでもある。これからはしっかりと指導して欲しい。 ○生徒の様子で気になることは、学校関係者にも積極的に知らせたい。困っていることがあれば地域として出来ることは手助けしていきたい。 ○今は大変な状況だが、保護者も学校の力になっていきたい。 ○挨拶をすること自体が難しくなっている状況だが、生徒の意識を高めてやってほしい。 ○「あいさつの声が響く街・思いやりの心があふれる街」をテーマにした保幼小中連携した取り組みは続けてほしい。

自己評価における特記事項

○自己評価で「いじめなどの問題行動が起きた時、組織的に対応できる体制が整っている」の項目が十分できていないと回答している割合が大きい。問題行動が起こったときに一部の教師に負担がかり過ぎたり、学校として対応が後手にまわったりしていると感じている教職員が多い。チームとして連携を深めるとともに、個々の力量を高める必要がある。

項目以外の点での来年度の課題や具体的改善方法

○学校運営協議会と連携しながら学校行事についての意見交換の場を持つ必要があるのではないか。
○臨時休業などの措置がとられた場合や、学校運営協議会の委員の方に意見を聞きたい場合などに対応するため連絡メールシステムでのメール配信ができるようにしていきたい。
○平日1日(火曜日が基本)と土日のどちらか1日をノー部活デーとすることが定着してきた。一昨年よりも教職員も心身を休める時間が持てるようになってきた。しかし、感染症拡大防止のため様々な場面で変更を余儀なくされ、その対応に当たっているため勤務時間の適正化が改善されているとは言えない。職員が心身の健康を保てるよう引き続き勤務時間の適正化に取り組んでいきたい。